

# 元気メガ盛り 大須プラスα



## 大須RCがフォトコンテスト

名古屋に大須という街ができるきっかけとなった大須観音の移転が1612年(慶長17年)だったことから、今年は大須400周年に当たるといふ。その大須の魅力を伝えるには写真が最適ではないかという発想から、名古屋大須ロータリークラブ(<http://www.nago-ya-osu.org/>)は今年、フォトコンテスト「大須なう」(詳細はホームページ)を開催する。その応募締め切りが29日に迫っている。

大須は門前町であり、サブカルチャーの聖地、ファッション情報発信基地、グルメの街でもあり、年代や属性によって楽しみ方が変わる。そこで、子ども、高齢者から外国人まで幅広く参加して楽しめるコンテストとして、一般、女性、ジュニア、外国人、携帯写メの

# 個々の感性で魅力パチリ

部門を設定。

今や、写真は手軽で身近なコミュニケーション手段として幅広く普及している。いろいろな人がそれぞれの感性で撮影すれば、大須のいろいろな魅力が見えてくるだろう。さらに作品は名古屋大須ロータリークラブホームページで公開するの

で、それを見た人がまた、新しい大須の魅力を発見してくれるはずだ。

名古屋大須ロータリークラブはこれまで大須でさまざまな活動を行ってきた。例えば中警察署主催の非行防止・薬物乱用防止キャンペーンに

参加。名古屋おもてなし武将隊や大須商店街連盟のメンバーとともに商店街を歩き、非行防止と薬物乱用防止を訴えた。

また、名古屋大須ロータリークラブが参加した非行防止・薬物乱用防止キャンペーン

の小面を使って大須観音で新能を奉納した。この他にも「大須の街史巡り」など、地域貢献、社会貢献となる取り組みを展開。現在は再来年の30周年に向け、新しい企画を準備しているという。

## 再来年は 30周年 地域貢献に新企画で



名古屋大須ロータリークラブが参加した非行防止・薬物乱用防止キャンペーン

名古屋大須ロータリークラブ20周年の2004年には「大須観音 鬼の嫁取り物語」を行った。大須観音の寺宝が鬼面なので、この鬼面の「お嫁さん」として京都で小面(こおもて)を作った。その後、商店街をパレードしたのだ。さらに08年には25周年記念として、この小面を使って大須観音で新能を奉納した。この他にも「大須の街史巡り」など、地域貢献、社会貢献となる取り組みを展開。現在は再来年の30周年に向け、新しい企画を準備しているという。